

## 平成 30 年度 記者懇談会（第 2 回）の記録

日 時 平成 30 年 5 月 28 日（月）午後 4 時 00 分  
場 所 水道庁舎 4 階 会議室  
記者数 7 人  
同席者 飯川副市長、若山副市長、総務部長、農政部長、経済部長  
次 第 1 岩見沢市内における農作業（春作業）の進捗状況について  
2 ログホテル メープルロッジのリニューアル後の利用実績について  
3 その他について



## 1 岩見沢市内における農作業（春作業）の進捗状況について

### 説明内容

#### （市長）

それでは、春の農作業の状況につきまして、簡単にご説明します。

資料に基づきまして、資料の 1 の融雪期でございますが、今年は平年より 6 日早いということで、3 月 31 日に融雪期を迎えました。

4 月上旬は低温が続きましたけれども、中旬以降につきましては天候にも恵まれ、春作業は概ね平年並みで進んでいるということをお聞きしております。

5 月 15 日現在で空知農業改良普及センターが取りまとめた調査結果によりますと、資料の 2 の水稲につきましては、播種作業が 4 月 16 日から始まり、平年より 3 日早い 4 月 26 日で終了ということでございます。

また、苗の生育も順調でございますが、田植えは 5 月 17 日から始まり、現在はほぼ終了している状況でございます。

資料の 3 の玉ねぎでございますが、移植が 4 月 20 日から始まり、平年より 7 日早い 4 月 30 日に終了いたしました。

玉ねぎの移植後につきましては、少雨により活着が遅れたため、生育の停滞が一部見られたところでございますが、5 月に入り適度な降雨もあり、今後の天候次第で十分回復が見込まれるというところでございます。

なお、生育状況につきましては、平年より 4 日遅いということでございますが、ここ数日の天候でずいぶん回復しているのではないかと考えております。

資料の 4 の秋播き小麦につきましては、4 月中旬以降の安定した天候のもとで、平年より 2 日早く順調に生育しているとのことでございます。

以上でございます。

### 質疑応答

なし

## 2 ログホテル メープルロッジのリニューアル後の利用実績について

### 説明内容

#### （市長）

メープルロッジがリニューアルオープンしてから約 2 か月が経過いたしました。オープン後の利用実績等について、とくに 4 月を中心に報告させていただきます。

はじめに、リニューアルオープンまでの経過でございますが、昨年の 10 月に工事を開始いたしました。今年の 2 月末に工事を完了し、その後、試食会や旅行代理店や、あるいはメディア関係の皆様、取引先等を対象に内覧会を開催し、126 名の方にご出席をいただきました。

24 日から 30 日までの 7 日間につきましては、各日 10 組、各組 2 名限定で、1 泊 2 食付 5,000 円の市民限定の宿泊モニターでご宿泊いただきました。その

実績でございますが、71組、153名の方にお泊りいただいたところでございます。

このたびのリニューアルの主な内容でございますが、老朽化への対応といたしまして、ログの調整、屋根の葺き替え、給排水・衛生設備、安全設備、調理設備などの各機械設備関係の更新、さらに照明設備のLED化を行ったところでございます。

さらに、浴場関係につきましては、露天風呂の新設を含むフルリニューアル、さらには源泉井戸の掘削工事を実施したところでございます。

それから、部屋の改修でございますが、二段ベッドの4人部屋の6部屋をツインタイプの客室4部屋へ改修をいたしました。会議室1室につきましても、客室に変更し、オールバリアフリー化等を実施したところでございます。

レストランでございますが、より多くの地元の食材を活用したメニューへと内容の充実を図ったところでございます。加えて、接客等のサービスの向上も図ったところでございます。

これからの季節でございますが、グランピング、あるいは毛陽コロシウムや広い敷地を活用した体験、あるいはアクティビティの開発も行ったところでございます。

4月の1か月間の実績でございますが、利用者は宿泊で昨年対比、同月比でございますが、約3倍、レストランで約2.5倍、日帰り入浴で約2倍、全体の利用者数で約2.4倍となっております。

ベッドの稼働率でございますが、昨年4月は11.4%でございましたが、今年は56.3%と上昇したところでございます。

なお、5月、6月につきましても、稼働率は予約ベースですでに昨年を大幅に上回っているところでございます。

また、ご利用いただきましたお客様からのご意見によれば、露天風呂の新設等の施設への評価に加えまして、地元の食材を多く取り入れたメニュー、さらにスタッフの対応などにも好評をいただいたところであり、今後も、さらに多くの方に利用していただけるよう努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

## **質疑応答**

### **(北海道新聞)**

ログホテル マープルロッジの実績ですが、パーセントではなく、人数や売上額のような具体的な数字を知りたいのですが。

### **(市長)**

後ほどご提出させていただきます。

### **(NHK)**

4月1か月間の利用者ではどのような方が多かったのですか。

**(経済部長)**

ご宿泊いただいた方のうち、市内の方が 139 人、市外の方が 373 人、道外からのお客様が 26 人、海外からのお客様が 2 人でございます。

**(NHK)**

ツアー等に組み込まれて来られた方が多いのですか。

**(経済部長)**

個人でお申込みになった方の比率が非常に高いというように聞いております。

**(NHK)**

それは PR などをしたのですか。

**(経済部長)**

事前に営業などもさせていただきましたし、ホームページや色々な媒体を通じて発信もさせていただきました。それから、皆様にも色々取り上げていただいた成果だと考えております。

**(プレス空知)**

レストランの利用率ですが、これは宿泊を伴っての利用者、それとも日帰り入浴を伴っての利用者なのですか。

**(経済部長)**

これは宿泊を伴っての利用者は含まれておらず、レストランだけのご利用です。

**(プレス空知)**

これも、宿泊と同じように市内・市外の方の内訳は。

**(経済部長)**

レストランの利用については、市内・市外というように分けておりません。

### 3 その他について（記者からの質問）

#### 質疑応答

**(北海道新聞)**

以前、弊社の方で報道がありました「親族との賃貸契約に関する住居手当の支給」の問題なんですけれども、岩見沢市でも制度があるということで、その後の取材で、事務の方は改善が必要という認識をお示ししてらっしゃったのですけれども、ぜひ市長の見解というのを伺いたしたいと思います。

**(市長)**

必要な見直しはすべきだと思っています。今、過去 5 年に遡って、親族間の契約の洗い出し、あるいは、職員の契約状況の調査等々を自己申告で今月いっぱいまでまとめようとしています。親族間の契約ということで、適正に、定期的な確認も含めてできるようにシステムをきちんと作ることに、持ち家等に対する住居手当の問題もありますので、そういったところについては改善するように私から担当に指示を出しています。

### **(北海道新聞)**

別件でもう一つ。今年度から新たに職員の採用試験において、前期として大卒対象の採用枠を設けたことについて、背景に人材難というところがあると思うのですが、前期に採用枠を設けたねらいや目的を教えてくださいたいと思います。

### **(市長)**

やはり、より優秀な人材を広く求めたいというのが第一でございます。また、技術系職員をはじめ、不足しているのが実情でありますので、そういった点の解消もあります。市職員になることを目指す人が試験を受けやすい時期に 2 回実施するということで見直しております。

### **(NHK)**

あさって、室蘭線の 5 自治体が知事と意見交換をされると思うのですが、そのときに話したい、訴えていきたいことはありますか。

### **(市長)**

7 月を目途に国の支援策をまとめる協議を始めておりますので、その後のことについて、沿線自治体としても適宜きちんとした形で議論を重ねていきたいです。室蘭線につきましても、南空知の沿線の首長どうしの懇談会を実施しておりますが「残す」ということを前提にしておりますし、北海道の交通政策の総合指針の中でも、物流も含めて存続という方向性も出されていますので、そこはしっかりと共通認識をもって議論していきたいと思います。

### **(NHK)**

また、実際に知事が室蘭線に乗車されるという話も出ていますが、どのようなところを観ていただきたいですか。

### **(市長)**

私が承知している範囲で言いますと、岩見沢駅で乗られて栗山まで行くということです。そして、栗山で駅前を視察なさることまではお聞きしています。

### **(NHK)**

せっかく乗車していただけるなら、この風景を是非ご覧になってはということはあるでしょうか。

### **(市長)**

いろいろ経験していただくことで実状を知っていただくことはとてもいいことだと思いますし、感謝申し上げます。

### **(毎日新聞)**

昨年 7 月に実態調査をして、栗山や由仁の住民は岩見沢に出て来るために JR を使っている一方、逆に岩見沢からは使わないという実態が見えてきているのですが、市として考えている乗客の利用促進策などのプランがあれば教えてください。

### **(市長)**

利用促進については、現状を調査し、通学客が多いということと、岩見沢に向かってくる方だと学校を終えて岩見沢から戻られる方がほとんどです。ご指摘のとおり、岩見沢市民はあまり乗らないというのが実情でございます。大きな方向性としては、岩見沢市民が乗れるような利用促進という考え方もありますし、その前段で観光とかイベント等を通じて利用促進を図るということで、南空知の3自治体でいろいろ知恵を出してやっているところです。

それから、国の支援策がどういった形で示されるのか詳しくはわかっておりませんが、一つ言えるのは、上下分離方式は地元としては負担しきれないというのは現実問題だと思います。その点については、道庁をはじめ、情報の共有を速やかに行いながら適切に適宜協議会、懇談会等を開催しながら対応していきたいなと思っています。

### **(毎日新聞)**

岩見沢市民の利用促進策として、以前、広報紙で「室蘭線で新千歳空港に行ってみた」という内容の特集がされており、岩見沢市民が室蘭線に乗る理由づけとして「新千歳空港に行く」というのもあると思うのですが、現状を見ると、室蘭線と石勝線の接続が悪いなどのネックもあります。接続を改善すべく、来年3月のダイヤ改正に向けてJRにお願いするなど考えていることはありますか。

### **(市長)**

JR北海道がどういう取組みをなさるのか。岩見沢に来られる方が室蘭線を利用する環境になると利用客数が増えるかなという思いがございます。記者がおっしゃったように新千歳空港に直行できるような便について、JR北海道に市の考え方を打診したことはございますが、ダイヤ的にハードルが高いという状況もございました。いずれにしても、それができるかどうかというよりは、国の支援策を含めて、JR北海道の経営の中で室蘭線を維持できるようなことを沿線自治体とよく協議をしながら対応していきたいなと思っています。

(注) 記録の内容については、重複した言葉遣いや、明らかな言い直しがあったものなどを整理した上で作成しています。(作成：岩見沢市秘書課広報係)